

平成21年度「金沢ユネスコ・スクール推進事業」実施報告書・各学年情報シート			
学校番号	44	学校名	金沢市立朝日小学校
学年	5年	テーマ	環境教育

朝日に生きる命

1 主な学習内容

5年生は、1・2年生で取り組んだ自然観察をこれまでに培った理科の観察力を用いて再度行い、朝日の自然の豊かさや不思議さに気付き、昆虫の生態や植物の外来種の存在から人間の生活が動植物に影響を与えていることを理解し、6年生での環境を守るための実践につなげていくことを学習の目的とした。

今年の総合的な学習の時間は、校区内の植物について、小野ふみゑ氏を講師に迎え、説明していただくことで、植物に対する関心を高めたり、スケッチの仕方も学んだりすることから始まった。その経験が児童に「朝日の植物図鑑を作りたい、それを発信したい」という思いにつながった。図鑑を作ることで、朝日にはたくさんの植物が生息していることを伝え、自然環境を守ってほしいと訴えかけること、また、図鑑は地域のことを学ぶ低学年に役立ててもらおうことの2つが学習の目標となった。7月には松枝章氏を講師に迎え、昆虫の生態についてのお話を聞かせていただいた。また、環境問題が昆虫に与える影響についても話していただき、人間の生活が生き物に影響を与えていることについて考えさせることができた。



こうした学習をもとに、朝日に生きる動植物の中から1種類を選んで、図鑑やインターネットを用いて、生態を詳しく調べた。そして、前期の活動をもとに、朝日の植物についての図鑑を作った。

学習発表会では、これまでの学習をただ保護者や地域の方にパワーポイントで発表するのではなく、図鑑を実際に手にとってもらい、評価してもらうことにした。保護者や地域の方からは「上手に描けているね。」「こんな植物もあるのだね。」といった言葉をいただき、児童は図鑑作りに自信を持って取り組むようになった。児童の制作した図鑑は学校ホームページに掲載し、朝日の豊かな自然を多くの人々に伝えていきたいと思っている。

現在は外来種が在来種に与える影響について学習している。昆虫の生態の時と同様、人間の生活行動が自然に大きな影響を与えていることに児童は驚いていた。今後は環境と人間生活との両立について考えていき、6年生での環境問題学習につなげていきたい。

2 持続発展教育の視点

朝日は昔ながらの豊かな自然と考える児童に、実は少しずつだが自然が変化していること、そしてその原因が人間の生活に関係していることに気付かせたかった。そのために自然観察に出向いたり、小野ふみゑ氏に外来種について教えていただいたりした。また、他県の高山植物と外来種の話について社会科の中で調べたりもした。

子どもたちは自分の意識とのギャップに驚き、また外来種に対しては「在来種のためにはこれ以上増やしてはならない」という意見や「外来種も1つの命であり、在来種同様見守ってい

かなくてはならない」という意見が出て、討論となっていた。これらの実践では、朝日の自然を守るためには人間がどうしなければならないのかを考える機会となり、来年の ESD 活動につながっていくことになった。